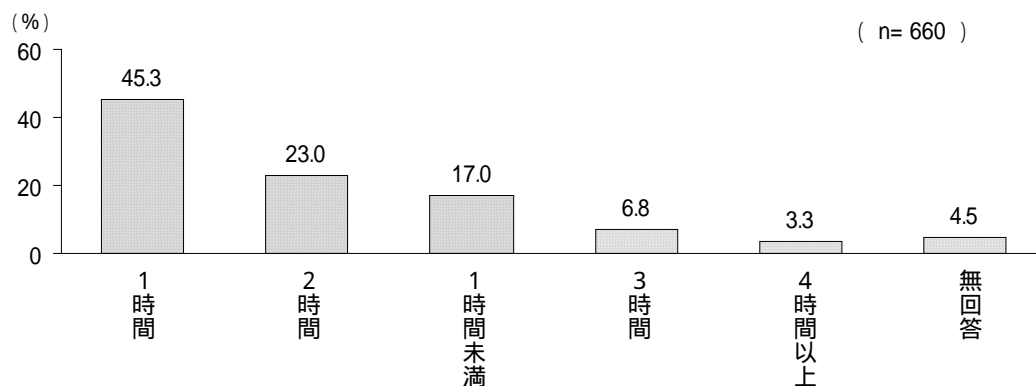


第3章 子どもの日常生活

3 - 1 子どもがテレビゲーム等で遊ぶ時間

問12 該当のお子さんは1日に何時間くらいテレビゲームやコンピュータゲームなどで遊んでいますか。

図3 - 1

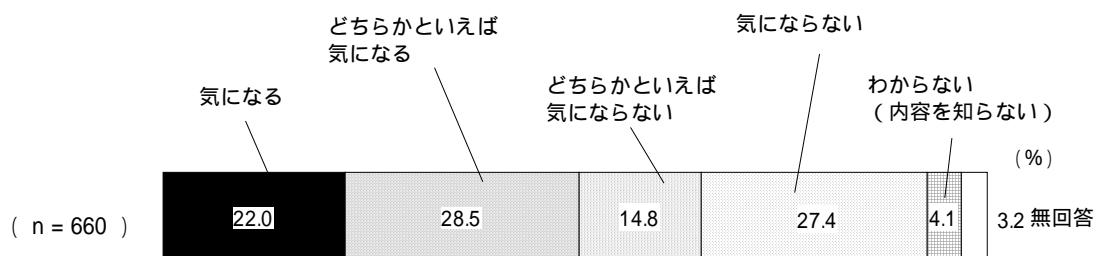


子どもが1日にテレビゲームやコンピュータゲームなどで遊ぶ時間としては、「1時間」が45.3%で最も多く、これに「2時間」(23.0%)が次いでいる。

3 - 2 子どものゲームの暴力描写等について

問13 該当のお子さんが見ているテレビやビデオ、遊んでいるテレビゲームやコンピュータゲームなどについて、残虐性や暴力描写等が気になることがありますか。(は1つだけ)

図3 - 2

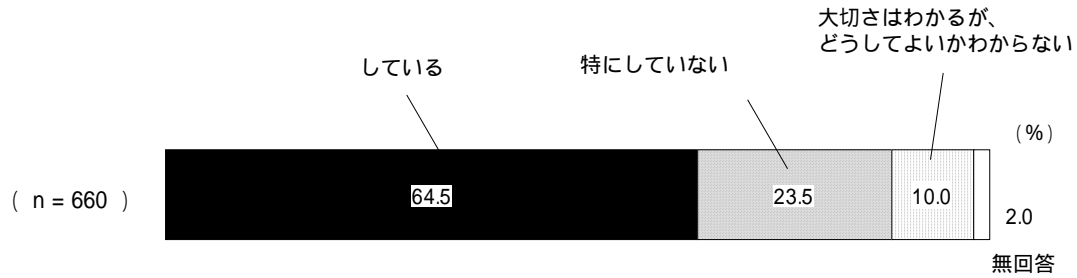


子どもの遊ぶゲーム等について残虐性が「気になる」が22.0%で、これに「どちらかといえば気になる」(28.5%)を合わせた<気になる>は50.5%と過半数を占めている。一方、「どちらかといえば気にならない」は14.8%、「気にならない」は27.4%となっている。

3 - 3 子どもに命の大切さを教えているか

問 14 家庭でお子さん(該当のお子さんに限りません)に生命の大切さを教えるようにしていますか。(は1つだけ)

図 3 - 3



子どもに命の大切さを教えることを「している」は64.5%を占めている。また、「大切さはわかるが、どうしてよいかわからない」という人も10.0%いる。一方、「特にしていない」は23.5%である。

3 - 4 子どもに命の大切さを教えている人の具体的内容

問14で、家庭でお子さんに生命の大切さを教えるようにしていますかという質問に「している」と応えた方に、その内容を具体的にお聞きしたところ、383人より回答が寄せられた。

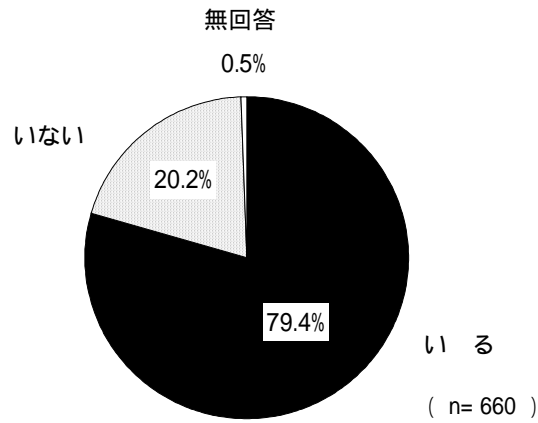
1人で2つ以上の内容の記入があった場合には、これを1件とせず延件数として集計したので、件数は回答者数よりも多くなっている。

	件数
犬、猫、ハムスター、金魚等の動物を飼うことを通じて、生命の大切さを教えている。	121
テレビや新聞で、戦争、事故、虐待等、人間の生命に関わる事件が報道されたとき、生命の大切について、話し合うようにしている。	114
日頃から、生命の大切さ、人を思いやることの大切さ、人を傷つけてはいけないこと等を話すようにしている。	70
肉親、兄弟の死、流産、墓参り等、人間の死と向き合う機会を通じて、人間の生命が一回限りのものであり、死んだら生き返らないという事実について、話している。	42
子どもが生まれたときの親の喜びや、親が子どもをどれほど深く愛しているかを普段から話している。	31
日頃から（外出のときに事故に遭ったり、誘拐されたりしないよう）自分の安全に気を付けるよう言っている。	17
本の読み聞かせをしながら、生命の大切さを教えている。	15
戦争の悲惨さについて、話すようにしている。	9
植物を育てることを通じて、生命の大切さを教えている。	5
その他	3
合 計	427

3 - 5 子どものかかりつけ医の有無

問 15 該当のお子さんのかかりつけの医者がありますか。(は1つだけ)

図 3 - 4

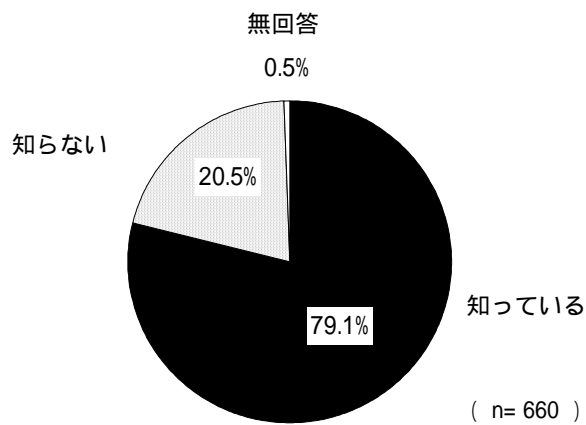


子どもにかかりつけ医が「いる」という家庭が79.4%を占めている。

3 - 6 子どもが休日や夜間に受診できる医療機関の認知状況

問 16 休日や夜間にお子さん(該当のお子さんに限りません)が病気になったときに受診できる医療機関を知っていますか。(は1つだけ)

図 3 - 5

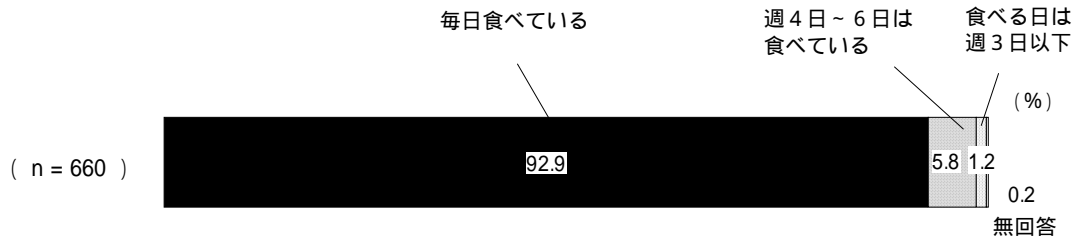


子どもが休日や夜間に受診できる医療機関を「知っている」という回答は79.1%となっている。

3 - 7 子どもの朝食の摂取状況

問 17 該当のお子さんは毎日朝食を食べていますか。(は1つだけ)

図 3 - 6

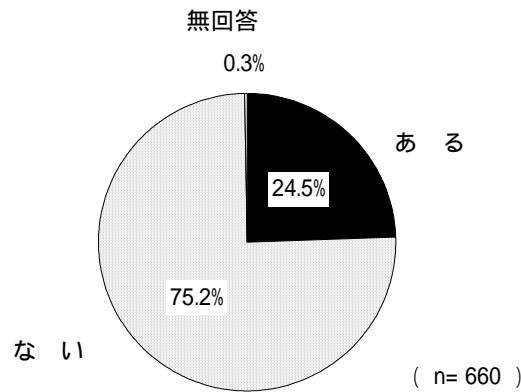


子どもの朝食の摂取状況を見ると、「毎日食べている」が92.9%を占めている。一方、「週4日～6日は食べている」は5.8%、「食べる日は週3日以下」は1.2%となっている。

3 - 8 子どもだけで食事をとることの有無と回数

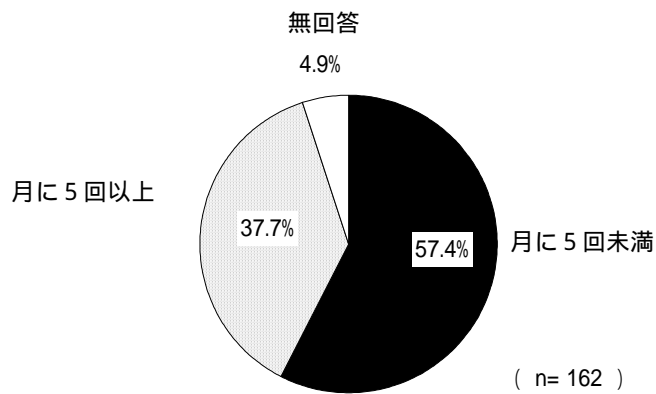
問 18 該当のお子さんが、お子さんだけで、食事（朝食、昼食、夕食のいずれを問わず）をとることはありますか。（ は1つだけ）

図 3 - 7



（問18で「 1 .ある」とお答えの方に）

問18 - 1 では、その回数を記入してください。

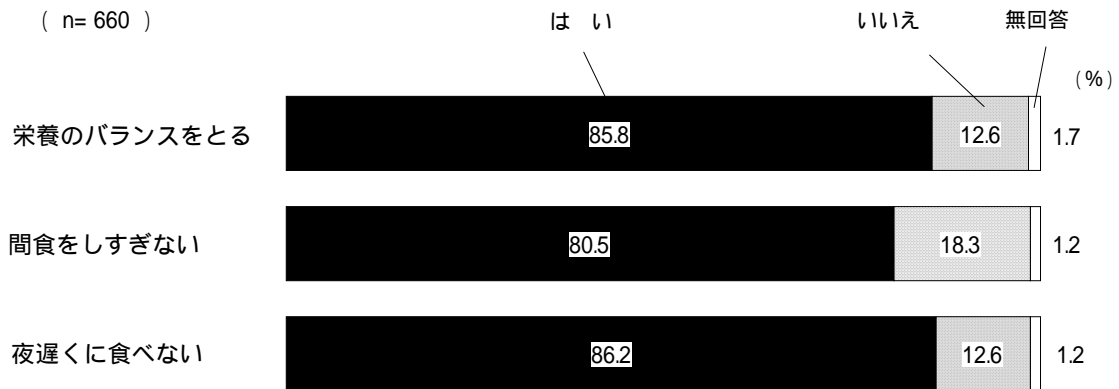


子どもだけで食事をとることが、「ある」という家庭が24.5%を占めており、その回数は「月に5回未満」が57.4%、「月に5回以上」が37.7%となっている。

3 - 9 子どもの食事について意識的に気をつけていること

問19 次の(ア)～(ウ)のうち、該当のお子さんについて、意識的に気をつけて実行していることを、それぞれ、「1. はい」、「2. いいえ」の中からお答えください。

図3 - 8

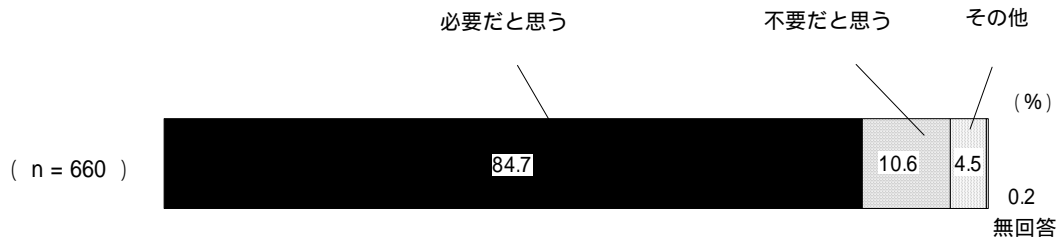


子どもの食事に関してしていることとしては、<夜遅くに食べない>が86.2%、<栄養のバランスをとる>が85.8%、<間食をしすぎない>が80.5%となっている。

3 - 10 子ども部屋の必要性とその年齢

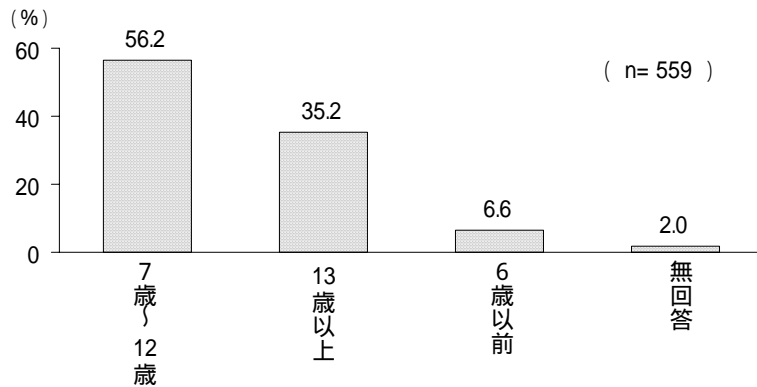
問20 「子ども部屋」は必要だと思いますか。(は1つだけ)

図3 - 9



(問20で「1.必要だと思う」とお答えの方に)

問20 - 1 何歳くらいから必要だと思いますか。



子ども部屋が「必要だと思う」は84.7%を占めており、必要となる年齢としては「7歳~12歳」が56.2%と過半数を占め、次いで「13歳以上」が35.2%となっている。